



楓の森アップデート3



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第4号
令和7年5月22日(木)
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓 「志高く道を拓く」

○学校教育目標 「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

応援団長の決意!

明後日は、いよいよ運動会。これまで、各団一致団結して練習に取り組んできました。ここで、各団団長の運動会への意気込みを紹介します。

青団団長 6年3組 平野 廉惺さん

僕が団長になろうと決意した理由は、二つあります。

一つ目は、5年生の時の団長が、のどがかかるまでがんばっていたので「こんな団長になりたい！！」と思ったからです。

二つ目は、6年生は最後の運動会だから6年生として、1年生から6年生の全ての人が忘れられない思い出をつくりたかったからです。そして、青団全員の保護者のみな様にも忘れない思い出をつくれるようにがんばりたいと思いました。青団全員くいのない運動会、そして最後はみんな勝っても負けても、笑顔で終わられるような団にしたいです。のために一生懸命にやること、みんなで力を合わせてやること、助け合うこと、楽しむことが大切だと思います。みんなでいいことばかりの運動会にしましょう！！

白団団長 6年2組 古閑 廉志朗さん

ぼくが団長になった理由は、みんなで楽しく笑顔で優勝したいと思ったからです。白団は、いつも笑顔で元気に練習しています。去年の団長は、分からぬことやできないことがあつたら、わかりやすくできるようにコツを教えてくれていたので、楽しく練習できたから、次は、自分がやってみたいと思って、団長になりました。

ぼくは白団全員と仲良くなつて、みんなが人生で一番楽しいと思ってもらえるようになります。

また、学校が一つになり、助け合い、みんなが笑顔で運動会を終われるよう、みんなで協力して最高の運動会にしたいです。

赤団団長 6年1組 田中 美波さん

私が応援団長になりたいと思ったのは、昨年度の応援団長が1年生から6年生までをまとめて頑張っている姿を見て、自分もこうなりたいという気持ちが強くなつたからです。

応援団の練習を進めていく中で思ったことは、1年生から6年生まで、それぞれの良さが出る運動会であつてほしいということです。また、応援団になって、演舞を考えていく中で、「どうしたらいいか。」と迷った時に、副団長や周りの団員のみんなから、「こうしたらいいよ。」とアドバイスを言ってくれた時は、1人じゃないみんなで作る運動会を感じました。

団長になりたいと思ってから、団長だからしっかりしなきやという思いも出てきて、進んで発表もできるようになります、自分も成長かなと思っています。

本番に向かってこれまで頑張ってきたので、勝っても負けてもお互いたえ合う運動会にしたいです。

運動会のスローガンとシンボルフラッグ

今年の運動会のスローガンは、「やる気 MAX ~最高の仲間と心を一つに~」です。子どもたちの「やる気」と「団結力」が感じられるスローガンになりました。また、シンボルフラッグは、休み時間や放課後を使って完成させました。そのシンボルフラッグに込めた思いを紹介します。

白団 シンボルフラッグ(団旗)作成代表

6年2組 池田 実優さん

この団旗にした理由は、虎は力強い、優しい、行動力があるといったイメージがあり、白団なので、「白虎」にしました。



力強い=負けない、優しい=仲間思い、行動力がある=練習をがんばるというように考え、白団もそのような気持ちで優勝目指してがんばってほしいという思いで描きました。また、「白虎」は、見た者を幸せにすると言われており、白団を優勝へ導いてくれると思います。団旗の背景には流れ星もあり白団の願い「優勝」が叶うように考えて描きました。この団旗には、「今年は白団みんなが力を合わせて優勝するぞ！」という強い思いを込めています。

赤団 シンボルフラッグ(団旗)作成代表

6年1組 木村 任吾さん

ぼくたちは、フラッグに各団の力になりたい、背中を押したいという思いを込めて作成しました。そして、フラッグを描く上で意識したことは、2つあります。



一つ目は、だれもが思いを伝えられる絵を描くことです。伝えたい思いを見る人に感じてもらえるように描きました。二つ目は、他の団に負けない迫力のある絵を描くことです。迫力があれば団も盛り上がって、それだけでなく運動会全体を盛り上げられると思い、意識して描きました。このフラッグは、集中力とみなさんの協力により完成しました。

青団 シンボルフラッグ(団旗)作成代表

6年3組 西島 桃香さん

シンボルフラッグ作成では、やる気 MAX、気合い MAX でがんばりました！青団のシンボルフラッグは、どの団よりもよく、保護者の方々の心に残るように気合いを入れてがんばりました。



たまに「こうしたほうがいい」など、良くするためにお互いの意見が違つて、言い合いになつてしまうこともあります。けれど、どの団よりも良いシンボルフラッグにするならばいろんな意見を取り入れようと思い、みんなと納得できるように考えました。